

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年7月6日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、2ページ目を御覧いただきたいと思います。

7月10日火曜日、(4)の会合でございます。「第2回蒸気ボイドによる余熱除去冷却系(RHR)ポンプ機能喪失問題に係る担当者レベルでの技術的意見交換」、この会合の開催が予定されております。こちらは先般5月に開催されました第1回の会合におきまして、本件問題について、事業者から対策などについて説明を聞いたところでありまして、今回は第2回目ということで、第1回目について、長期対策などを含めた具体的なスケジュールについて事業者から説明をお聞きするというのを予定しております。

次に、その下、同日7月10日の(5)でございます。第598回の審査会合が予定されております。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開にて開催させていただきます。審査の対象でございますが、四国電力・伊方発電所3号機の工事計画認可についての審査を予定しております。

続きまして、その下、(6)、同日午後でございますが、「平成30年度第2回原子力規制委員会行政事業レビューに係る外部有識者会合」が予定されております。こちらは行政事業レビューの有識者会合ということで、毎年実施されているプロセスでございます。今回の会合では、平成30年度の外部有識者による点検対象事業について事務局から説明し、御意見、御議論をいただくというのを予定しております。

次に、その下、(7)の審査会合でございます。こちらと同じく7月10日の午後に開催される予定の審査会合でございます。議題といたしましては、現時点で大きく2件の審査が予定されております。

まず、1件目といたしまして、日本原電・東海第二発電所の工事計画認可についての審査を行う予定であります。内容といたしましては、ブローアウトパネルについての先日の試験を踏まえた対策について説明をお聞きし、また、工事計画認可についてのスケジュールについても説明を聞き、確認をするという予定となっております。

また、2件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号機の設置変更許可についての

審査を予定しております。内容は、内部火災対策、また、耐津波設計などについての審査が行われる予定でございます。

次に、3ページ目、7月13日金曜日、(10)の審査会合でございます。こちらは議題に記載がございますように、日本原燃株式会社の再処理施設などの関連施設についての審査ということで、こちらは地震等に係る適合性の審査ということでございますが、こちらは平成28年末に、これら施設についての地震等に係る審査について、まとめの会合が開催されたところですが、その後、審査の中断などもあり、時間が空いているということ踏まえまして、改めてその後の知見なども踏まえて検討と取りまとめの審査を行うということを予定しているものでございます。

次に、その下、(11)の審査会合でございます。こちらも特定重大事故等対処施設に係る審査ということで、非公開で開催をさせていただくものでございます。こちらは議題としては、関西電力・美浜発電所3号炉の特定重大事故等対処施設につきまして、地震関係ということで、敷地内の地質・地質構造についての審査を行う予定でございます。

最後に、3ページ目下段の3. 現地調査についてでございます。

(1) にありますが、7月12日と7月13日の2日間にわたりまして、関西電力・高浜発電所3号機、4号機及び美浜発電所3号機の現地調査を行うということを予定しております。山中委員ほかが発地に行き、調査を行う予定でございます。こちらは新規制基準適合性審査に関する現地調査ということで、特定重大事故等対処施設の設置予定場所などについて、確認を行うということを予定しているものでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。質問のほうはよろしいでしょうか。それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—